

施設長 竹田 功

3月を迎えて、ここ最近の話題は新型コロナウイルスの感染拡大とその対応についてです。政府からは様々なイベントなどを中止・自粛するようにと要請があり、世の中の動きは一律的な対応となっています。施設で暮らす子どもや担当職員も楽しみにしていた卒業式は、縮小され実施されると聞いています。子どもの健康と安全を第一に考えた苦渋の決断ですが、本当に残念だと思う今日この頃です。施設に在園する子どもの思いは殆どが保護者と暮らすことと回答します。親などから不適切な関りがあった場合は、子どもの安全・安心を確保するために親子分離の方針をとることがあります。子どもの思いと大人の対応とは、必ずしも一致しないので、施設での生活を余儀なくされたと感じている子どもは少なくありません。だからこそ子どもの思いや気持ちを汲み取る取り組みが児童養護施設では特に必要だと考えます。当施設では、高校生が主体となる自治会、意見箱の設置、子どもへのアンケートの実施、食事についての嗜好調査など、子どもの意見を汲み取る取り組みを行っています。まだまだ不十分なところもありますが「子供の意見を聞く」ことを基本姿勢として職員一同、今後も取り組んでいきたいと考えています。

クジラ匠育英会基金による園内外出行事

『子ども輝く未来基金』として、公益財団法人 匠・育英会様よりご寄付いただきました。施設全体の約140名で外食行事を実施。初めて食べるホテルの食事に戸惑いながらも、良い経験となりました。



寄付寄贈一覧（順不同）

合川 美知代	恵比須 悦子	川口板金㈱	坂上 和右	高木 満代	中村 容子	平山 千紘	7ハブ布施店	吉田 経子	浅田満児童チャレンジ資金	大阪府玩具・人形問屋共同組合連合会	㈱エクチュア	㈱ステート・アイ
青森期待の新人商店	遠藤 郁子	河島 康子	佐川急便㈱	高河原 多恵子	中村 浩	藤本 政潔	マリヤ会	吉田 忠義	一般社団法人 H2Oサンタ	大阪本場青果卸売協同組合	㈱チュチュアンナ	㈱西沢保険ワズ 代表取締役 西沢 伝夫
赤坂 良子	及川 重雄	川村 千枝子	澤 美知子	武田 徳男	中村 芳江	藤原 綾子	まるよし家具	吉村 達俊	一般社団法人 大阪電業協会	大阪レックニッ卸商協同組合	㈱日研工作所	オエツ工業㈱ 代表取締役 清水 義道
荒川 清美	大上 壽一	河村 やよい	支援センターのぞみ	辰巳 桂子	西岡 節子	深谷 和子	三尾 孝子	レックス工業㈱	一般社団法人 日本出版クラブ	関西浄化組合 代表 安東 政臣	㈱枚岡電化 代表取締役 上野 泰敬	Joyful 喜一ホールディングス㈱
7ハブ農業組合	大畑 辰夫	菊岡 るり子	鹿島 浩子	田中 利親	西田 芳弘	古川 キヨミ	美野 悦子	和久田 忍	大阪教区仏教婦人会連盟	協同組合大阪紙文具流通センター	㈱7スワン 代表取締役 木村 康浩	Kinran International Saturday School
伊豆 美保	大和田 育子	ココナ大東店	芝高 康造	田中 美智子	西野 陽	法照寺 寺田 完英	安田 龍郎	和田 明子	岡本㈱ 代表取締役 岡本 哲治	公益財団法人 クラ匠・育英会	㈱ベル玩菓	NPO法人 エスワン
伊藤 清子	岡田 匡子	岸野 敏男	島津 尚文	田村 精造	日本鏡餅協会	堀田 光朗	安田 春三	渡辺 美千代	手作りボランティア・ヒーバー	ジェコム株式会社 代表取締役 島 啓介	㈱マルニシ産業	
岩倉印刷紙業㈱	岡村 悦子	北中 廣興	人生道場	塚本 和子	野田 嘉美	堀口 実	山口 保代	渡邊 幸二	西吟寺がら仏教女性の会	芝野南 代表取締役 芝野 桂太郎	㈱万代	
岩永 恵子	岡本 照子	北橋 幸和	スーパーマーケット大東店	出口 文子	橋本 剛	堀部 富子	山崎 哲也		東大阪補タワズクラブ	浄土真宗本願寺派 西本願寺	㈱エーエム 取締役社長 河本 英雄	
植田 哲二	小川 澄子	教専寺ター	住井 英次	寺嶋 正子	畑上 晴江	前田 勇	山下 佳世子		美容室 CRAICE・VERITE	世界の野球グループ 支援プロジェクト	㈱リカマクテ	
上田 博司	奥田 ヨシノ	共同食品㈱	全国ジャンパー協同組合	徳見 朋子	原田 安子	政とみ	山下 チツ子		フリック モスジャパン㈱	東大阪市伝統食を考える会	小山鋼材㈱ 代表取締役 小山 東輔	
上野 喬	尾立 純子	久保 勝美	千里丘観光開発㈱	徳山 性七	東口 廣子	松浦電気システム㈱	山森 広式		三菱ふそうトラック・バス㈱	東大阪市不動産販売株式会社	㈱大西衣料	
馬谷 登	カブス寝屋川萱島	小林 知子	太平物産㈱	戸田 尊文	東山 満行	松葉 善治	矢本 陽子		豊かな暮らし創造グループ	プレス精工㈱ 代表取締役 中川 澄郎	㈱ケイック 代表取締役 國武 一紀	
梅本 紀子	カブス大和	小森 清道	大和雄毅㈱	富岡 和子	日榮新化㈱	松村美代子	芳井 日出夫		大阪市立 汎愛高校 手芸部	宮川化成工業㈱ 会長 宮川 征四郎	㈱シリウスケアサービス	
エース㈱	堅田 久義	近藤化学工業㈱	タケ金属㈱	仲村 秀子	日阪製作所	7ハブ大東店	吉川 智			㈱池崎鉄工所 代表取締役 池崎 昇	㈱スル 代表取締役 宮本 隆良	

自治会行事

毎年、園内自治会主催の行事を行っています。小学校の体育館を利用し、小学生から高校生、職員が一同に交流できる行事を行っています。



万代ドリムワールド 行事

毎年7月にスーパー万代様より行事招待を頂いています。学べる体験を通して、いつも子供たちの笑顔の支えとなっています。



東ロータークラブ 招待行事

毎年、東RC主催で様々な行事を行っています。今年度はカップヌードルファクトリーでハンダー作り体験を行い、子どもたちも大喜びでした。



ティム技研 BBQ 招待

(株)ティム技研様による BBQ 行事招待。毎年子どもたちを招待していただき、子ども達も大喜びで、地域の方々に支えられて生活しています。



フットサル大阪大会

大阪府下にある各児童養護施設の小学生で構成されたフットサルチームが日々練習を行い、7月の大阪大会を経て全国を目指します!! 今年度は4位と大健闘。



園内キャンプ（低学年・高学年）

毎年、7月と8月に施設キャンプ行事を開催。7月は中学生～高校生、8月は幼児～小学生を対象に実施。キャンプを通して自然の生活体験（遊びや食事作り）の楽しさを知り、自然を通して日常の便利な生活に感謝する。子どもたちの生きる力を育む体験行事。



防災対応訓練

自然災害や火災、地震などに備え、子ども達の避難訓練だけでなく、職員の災害予防訓練も実施しており、子どもたちの安心安全な生活に努めています。



「苦情申し出窓口」の設置について

社会福祉法第82条の規定により、本法人では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えることといたしました。本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めることと致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 苦情解決責任者 竹田 功 (生駒学園 園長)
2. 苦情受付担当者 小田 秀治 (主任児童指導員) 濱岡 京子 (主任保育士)
3. 第三者委員 山内 稔 (元大阪国際大学短期大学部 教授)
石田 肇 (生駒学院 評議員)
家常 恵 (生駒学院 監事)

4. 苦情解決の方法

(1) 苦情の受付

苦情は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。

なお、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

(2) 苦情受け付けの報告・確認

苦情受付担当者が受け付けた苦情を苦情解決責任者と第三者委員（苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合を除く）に報告いたします。第三者委員は内容を確認し、苦情申出人に対して、報告を受けた旨を通知します。

(3) 苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は、苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。その際、苦情申出人は、第三者委員の立会いを求めることができます。なお、第三者委員の立会いによる話し合いは、次により行います。

- ア. 第三者委員による苦情内容の確認
- イ. 第三者委員による解決案の調整、助言
- ウ. 話し合いの結果や改善事項等の確認

(4) 大阪府の「運営適正化委員会」の紹介

本事業所で解決できない苦情は、大阪府社会福祉協議会に設置された運営適正化委員会に申し出ることができます。

令和元年度 福祉サービス苦情解決における状況

◇苦情・意見等の受付件数 12件

◇表明児童内訳

小学生	男児	1件
小学生	女児	4件
中学生	男児	6件(2名が2回)
中学生	女児	0件
高校生	男児	1件

◇表明内容

- ・他児とのトラブル
- ・年上に嫌な事される
- ・施設生活が嫌
- ・他児への不満
- ・職員への不満
- ・職員の仕事に立ちたい気持ち
- ・携帯の所持について
- ・他児からの嫌がらせ
- ・職員の対応
- ・相談したい
- など・・・

◇保護者からの意見・要望

- ・子どもの携帯料金、過去の職員対応について

◇対応結果

- ・小学生に関しては、無記名なこともあり、詳細の確認は出来ていないが、ホーム全体への確認、返しを行っている。
- ・投書確認できている児童は個別対応を行い、解決している。(※他児との些細なトラブル、小中学生の携帯所持希望など)
- ・保護者からの意見については、納得していただけるよう繰り返し話し合いを行い、協議を進めている。

※子どもの安心・安全な生活に日々取り組んでいます。



勤労感謝清掃奉仕活動

毎年11月23日『勤労感謝の日』に生駒学園の取り組みとして、日頃お世話になっている地域へ感謝の気持ちを込めて清掃活動を行っています。石切神社・中石切公園・なかよし公園・音川など、地域に根付いた施設となるよう頑張っています。



睦会

睦会（むつみかい）は卒園生・退職職員を対象に、年1回開催される。近況報告や相談、当時の話まで、毎年40名ほどが集まり、世代を超えた繋がり、支援ができるような会になっています。



里親活動（活動と現状）

里親制度をご存知でしょうか？里親には養子里親だけでなく、養育里親（大阪府でははぐくみホーム）、週末里親などの種類があります。養子里親は養子縁組を行い、親子として生活することになります。養育里親は家庭に帰ることが難しい、家庭体験の乏しい児童が里親宅で一定期間育てていただくというものになります。週末里親は施設で生活している子供を週末や夏休みなどの長期休暇を利用し、家庭での体験をさせていただくものとなります。小学校1校区に1人の里親さんがいれば、子どもたちは住み慣れた地域を離れることなく、仲の良かった友達と別れず、転校することなく生まれ育った街で過ごすことができます。幼少期の子どもにとって大人との関わりが子どもの成長には大切なものとなります。現在、生駒学園では5組の7人の子どもが週末里親さんにお世話になっています。子どもたちの成長を地域で支え、手を差し伸べてみませんか？

NHK歳末たすけあい配分金事業

NHK歳末たすけあいにより、配分金が決定されました。

NHK歳末たすけあいにご協力いただいた住民・寄付者のみなさまに感謝いたします。
配分金は、新入学児通学、自転車及び学用品購入の事業に有効適正に活用いたします。



（編集後記）

生駒学園だより第14号

いかがでしたでしょうか。

生駒学園は地域の方々のご理解により成り立ち、様々な企業・個人の皆様の寄付寄贈により支えられています。

感謝報恩の気持ちを胸に、これからも地域に根付いた施設運営を目指して参ります。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。